



◀神田昌味さんの公式ウェブサイト

山岡町下手向  
かんだ まさみ  
神田 昌味さん (52歳)

□プロフィール

栃木県宇都宮市出身。講師として活躍し、本年6月に恵那観光大使に任命された。5人の子どもを育てる母親でもあり、冷蔵庫の中は手作りの梅の酵素ジュースでいっぱいになっている。



▲こども講談体験の様子 (令和5年8月)

日に日に味が出る講談を  
講談を身近に感じてほしい

「初めて講談を聴く人に出会えると、うれしくて気合いが入る」と話す、講師の神田昌味さん。講談は、日本の伝統芸能の一つ。釈台と呼ばれる小さな机の前に座り、それを張り扇で叩いて調子を取りながら、歴史にちなんだ話芸を披露する。

講談との出会いは、高校3年生の時。栃木県の高校で演劇部に所属し、将来は芝居の道に進もうと思っていた。いろいろな種類の舞台芸術を見ようと、夏休みに新宿の寄席に出かけた時、初めて講談を聴いた。独特な声の張りや声色で雰囲気を変え、何人もの人物を演じ分ける。演劇とはまた違った魅力に衝撃を受け、強く惹かれた。「あれ以上に感動した体験は、まだない」と振り返る。

平成元年、高校在学中に入門。上下関係が厳しい世界で、楽屋での前座修行や稽古など忙しい日々を過ごした。一生懸命演じてみても誰にも聴いてもらえず、舞台袖で悔

し涙を流すこともあったが、悔しさをバネに、必死で食らいついた。下積み時代を経て平成11年、寄席の一番最後に出演できる「真打」に女性では11番目に昇進した。結婚を機に、平成15年に恵那に移住。子育ての傍ら、全国各地の寄席に出演した。そんな時、新型コロナウイルス感染症が流行し、講談会が全てキャンセルに。しかし「落ち込んではいられない」と自分を奮い立たせ、寺での講談教室を始めた。住職が場所を提供してくれて、今でも教室を開いている。最近では、東京や地元栃木の講談会も増えた。

恵那観光大使になった現在、こども講談体験を開くなど、市内各地で講談会ができるように計画をしている。11月4日(土)午後1時から、林昌寺(山岡町)で初公開の講談も披露する。「子どもから大人まで、身近に講談を楽しんでほしい」と張り扇を握る手に期待を込めた。



7/22・23

夏の恒例行事  
こどもフェスタ2023

こどもフェスタ2023が恵那文化センターで開催され、親子連れが工作や科学実験を楽しみました。22日には、海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」が南極から持ち帰った氷が展示され、子どもたちは手で触ったり、氷の中の空気がはじける音を聞いて驚いたりしていました。



7/20

大井小の創立150周年を  
全校で祝う

大井小学校で創立150周年記念行事が行われました。低学年が育てた150本の花が体育館を彩り、中学年は大縄跳び150回に挑戦した様子を動画で紹介し、高学年は大井小の歴史を発表。児童会長の佐伯明日さんは「大井小を素晴らしい学校にしたい」と話しました。



7/27

デジタルスタンプラリーで  
夏の恵南地域を楽しんで

市恵南商工会では、夏のイベントや食を連携させたデジタルスタンプラリーを10月1日(日)まで実施しています。対象店舗で食事をしたり、イベントに参加したりしてスタンプを獲得して応募すると、抽選で恵南地域の特産品が当たります。



7/24

防災教育で恵那東中が  
内閣総理大臣表彰を受賞

交通安全や火災予防など、国民の安全の確保に顕著な功績をあげた方を表彰する安全功労者内閣総理大臣表彰に恵那東中学校が選ばれました。市の防災訓練に合わせ避難所設営訓練を行うなど、恵那東防災リーダーが中心となって防災学習を進めていることが評価されました。



8/6

第72回県消防操法大会で  
岩村分団が優勝

第72回県消防操法大会が各務原市で開催され、市の消防操法大会で優勝した岩村分団が、市消防団代表として15年ぶりに出場しました。県下22チームが、放水のタイムや正確さなど、日頃の訓練の成果を披露。ポンプ車の部に出場した同分団は見事、優勝を果たしました。



8/2

的確な初期消火  
消防協力者に感謝状を贈呈

的確な初期消火で延焼を防いだとして、中山義孝さん(大井町)に感謝状が贈られました。中山さんは6月13日、勤務先の隣の飲食店から出火しているのを発見。消火器で消火活動を行い、火を消し止めました。中山さんは「火災を発見して自然と体が動いた」と話しました。